

河北新報より、植物関係のニュースをひろってみた。
お世話になった白石市民図書館に謝意を表す。

1. 6 もう春かしら、角田地方、早くもフキノトウ
1. 7 仙台空港、共有林の伐採始まる
1. 22 梅もほころぶ、塩釜神社
1. 23 杜の都仙台、5ヶ年計画<一人一木を柱に>、
緑化憲章や園芸村
1. 24 どか雪に泣いた津山杉、緑の美林が一変
1. 28 おらが島の草っ葉が本に（女川・江島）、4
年がかりで採集
2. 8 牡鹿半島金華山・南三陸海岸、国定公園指定
めざす、近く連名で陳情
2. 18 せっせと花咲かじいさん、ゆかりの町へ桜苗
木、宮崎町の木幡さん
3. 4 北国に咲いたムヨウラン、米山の山林に、新
たな北限にびっくり、元校長さん
3. 5 森林被害に長期策、知事答弁、再造林など粘
り強く、県議会
3. 6 みあかしの松・ともしびの松、築館町天然記
念物に
3. 14 金華山自然休養林、東北では8番目、3年計
画、遊歩道など建設
3. 17 サクラ前線、白石11日、仙台13日、初めはお
そく一気に北上
3. 24 草っ葉でつづる島の風土記、江島植物誌を発
刊、女川五小上野先生
3. 25 ツバキ花盛り、大島、早春のかおりいっぱい
3. 29 舟下りに花添える、阿武隈川、サツキなど植
林
4. 6 サクラ前線近づく、ほころび出したつばみ、
学院大
4. 8 ふるさと緑の道、森林縫い遊歩道
4. 13 緑の銀行、近く発足、樹木の相談なんでも、
仙台
4. 15 ミズバショウ異変、育ち悪く花びらも腐る、
花山
4. 16 桜満開、仙南
4. 28 春告げるミズバショウ、栗駒山ろくに咲き出
す
5. 1 ミズバショウ（写真）、宮城・泉岳で
5. 5 樹齢二百年見事に開花、宮城一迫でシャクナ
ゲ
5. 26 町独自で文化財保護、鳴子、観光資源にも役
立てる
5. 29 大島を国民休暇村に、気仙沼市、県などに猛
運動
5. 31 植木ドロにねらわれる松島、車3台でゴッソ
リ、造園ブームに悪乗り
6. 4 ブナ伐採、急ピッチ、七ヶ宿“皆伐”改め保
護へ
6. 7 千本のバラが咲き競う、松島・円通院
6. 8 自然環境保全条例案まとまる、6月県議会で
提案予定
6. 9 東北の山地の自然保護（石塚和雄）、冷温带
特有の樹林、残そう貴重な遺産
6. 15 スイレンの花開く、岩出山の有備館
6. 21 高山植物の盗採防ぐ、蔵王中心の3営林署な
ど協議、巡視隊ふやしモニターも
6. 26 三千株が美を競う、石巻、アヤマ祭り始まる
6. 27 これでは市花が泣く、古川、見当らぬアヤ
メ、株分けで栽培奨励
7. 1 花咲く北限のラン（ムヨウラン）、米山、県
内にも広く分布か
7. 10 市花を育てよう、古川、青年たちが造園奉仕
7. 11 環境保全条例案など、14議案を可決、県議会
が開会
7. 12 “蔵王のブナ残して”、地元の自然保護協会、
営林署長に申し入れ
7. 12 自然破壊の開花はごめん、涌谷町、町民のい
こいの場優先
7. 14 自然休養林、葉来山が候補地に、小野田、町
が整備計画づくり

- 7.31 旧羽前街道に自然遊歩道，鳴子，芭蕉句碑など
目玉
8. 1 「世界谷地」若い人でにぎわう，栗駒山ろく
の湿原地
8. 2 天然記念物など収録，町教委「丸森の文化財」
発行
8. 4 網地島の植物を本に，コツコツ調べた長ぐつ
先生，分布図書き換える，松島二小高橋教諭
- 8.10 ザッと500人分，宮城鳴子，“キノコの王様
（ツキアエタケ）”採れる
- 8.11 命捨い，一本杉，宮城・一迫，町天然記念物
に指定
- 8.17 庭先使ってミツバ栽培，南郷，順調で減反も
ハネ返す
- 8.19 “極楽浄土”のながめ，伊豆沼のハス真っ盛り
- 8.21 “観光公害”に泣く蔵王，エコライン開通か
ら10年
- 8.22 自然環境保全条例の制定をめぐる，宮城県
知事と語ろう，ふるさとと心残そう，開発と
の調和が大切
- 8.22 松林全滅の恐れ，石巻，マツクイムシ異常発
生
- 8.29 特別保護区なのに，栗駒山の自然研究路，高
山植物を刈り払い，（岩手側）
9. 2 もっと大きくなーれ，大河原，バナナの木に
青い実
9. 4 カシワ林を保護しよう，白石に“守る会”誕
生，珍しいチョウ3種が生息，（蔵王自然保
護協会）
9. 7 桜の名所台無し，アメリカシロヒトリ，白石
河畔，葉食い荒す
- 9.14 きょうからハギまつり，仙台市野草園
- 9.17 御所山の案内書を刊行，「船形連峰御所山案
内書」
- 9.19 内容がユニーク，白石市史の第2回配本，（内
容一白石地方の植物，蔵王山の高山植物，他）
- 9.20 公害を緑で防衛，多賀城地区中央部緩衝緑
地，きょう公害防止事業団と契約
- 9.25 漁民のクリ林見事に実る，牡鹿町小淵浜，養
蚕と合わせ軌道に乗る
- 9.25 町有林を開放，味覚の味クリ拾いいかが，岩
出山
- 9.27 名物のシカ増える一方，自然の宝庫破壊の恐
れ，捕獲追いつかず，金華山
10. 2 ツツジが満開です，多賀城の桜井さん方，年
2回ずつかれんな花
10. 5 自然の宝庫は傷だらけ，採石や工事の余波，
石巻の牧山，市側県側に環境保全を申請
10. 6 工事跡地を緑化，鬼首の地熱発電，試験植物
園圃を新設
10. 8 原生林の秋を楽しむ，にぎわう船形の遊歩道
- 10.13 見事にミカン実る，岩沼，枝もたわわに200個
- 10.15 困る破壊前提の調査，早い開発テンポ，追い
つかぬ自然保護行政
- 10.15 船形連峰ひと目に，「ふるさと緑の道」第1
号が完成，定義一泉が岳青年の仲間
- 10.15 四季の桜が咲き出す，塩釜神社
- 10.30 仙台周辺のもみの木守れ，東北大奥津教授が
警告，自然災害シンポジウム
11. 4 緑と衝突，車両感知器，街路樹が枯れる，仙
台
- 11.27 東北の自然を守ろう，保護団体が協議会結成
（盛岡）
- 11.29 みちのくの花，（美と伝統），松田 修
- 12.14 自然環境保全基本方針案を答申，審議会が原
案了承，研究センターなど設置
- 12.18 116人が参加，『宮城植物の会』，開発前に分
布を研究（上野記）